



# NUstyle

教育・研究から学生・卒業生の活躍まで幅広く伝える

https://www.nihon-u.ac.jp

## 日本大学広報

No.836

編集・発行  
日本大学広報部広報課  
〒102-8275 東京都千代田区九段南 4-8-24  
電話：03(5275)8132 直通

## F D 活 動 を 抜 本 改 革

### 教育改善効果を最大化



本学は、大学教育の質向上を目指すFD（ファカルティ・ディベロップメント）活動を抜本的に見直した。昨年8月に開催した教員参加の「全学FDワークショップ」は、9月の学生・教職員参加の「日本大学学生FD CHAmmit（ちゃみっと）」をそれぞれ実効性の高い取り組みに転換。学部横断的な問題の

改善など、教育改善効果の最大化が図れる内容に変更した。少子化、グローバル化といった大学を取り巻く環境が厳しくなる中、FDを主体的な活動になるようブラッシュアップし、大学間競争での生き残りを目指す。

新しい全学FDワークショップは「日本大学版教育イノベーションに必要とすること」多様な学部の課題を出発点とした教育改善に向けた方向性の検討」をテーマに行われた。まず文系、理系、医療系別に選出したシンポジスト3人が基調講演。次に3分野別のグループになり、各学部が抱える問題を抽出し、学部連携で解決できる方策などを議論し、全学に共通する課題や学部間連携で解決可



### てんこう2打ち上げ成功 種子島に学生ら40人集結

理工学部  
工学部  
芸術学部

理工学部の奥山圭一教授の研究室が開発した超小型衛星「てんこう2」を搭載した新型宇宙ス



テリション補給機1号機（HTV-X1）が昨年10月26日、鹿児島県の種子島宇宙センターから打ち上げられた。打ち上

能な課題を洗い出した「写真上。期間を従来の2日間から半日に短縮し、全学的な教育改善の基盤づくりの機会とした。

で行ってきたが、「意見を出す」という本来の目的に集中。意見は事前に各学部と学生が議論してまとめる形に変更し、発表した意見を踏まえ、各学部で改善された好事例「他学部の協力が必

要な課題」などが討議共有された「写真上。運営担当の学務課は「今年度は問題点が整理されたことでより深い議論がなされ、大学を愛する」という具体的な提案が増えたと話している。

## 海外大から相次ぎ招待

### 「日大マインド」発信

本学は、海外学術交流から相次いで周年イベントに招待された。韓国



両校とも大貫進一郎学長が出席し、国際社会の中で「日本大学マインド」を発信する貴重な機会となった。

周年を記念して英国の高等教育評価機関アクアレリ・シモンズ（QS）の高等教育サミット・アジア太平洋地域2025と連携し、主要海外大学等のトップを招いた「プレジデントラウンドテーブル」を昨年11月4日に開催した「写真上。

大貫学長は「2024年に運営を始めた本学ニューカッスルキャンパスは、ニューカッスル大と本学との友情と信頼が結実させたものです。今後、両大学は学生交流や共同研究を含むさまざまな分野で協力を拡大していきます」とあいさつした「写真上。

## 箱根駅伝12年ぶりシード獲得



復路7区 天野啓太選手（法3年）は12年ぶりにシード権を獲得した。

第102回東京箱根間往復大学駅伝競走が1月2、3日に行われ、本学陸上競技部特別長距離部門は総合10位に入り、12年ぶりにシード権を獲得した。

キップメイ選手（文理3年）が区間2位の走り

3月に就職セミナー1年生から参加可能

て事業内容などを説明。情報収集を行う学生と企業・団体をつなぐ場となる。

## THE世界大学ランキング 本学がランクイン

このほど発表された「THE世界大学ランキング2026」で、本学が1501位（2191大学中）にランクイン

した。日本からは、115大学（うち私大46校）がランクインし、本学は、日本の大学では52位タイ、私大では17位タイだった。

総合的に評価するランキングの一つ。

「教育」「研究環境」「研究の質」「産業界」「国際性」の5分野17指標に基づいてランク付けしている。今回は3168校がエントリーし、本学は初エントリーだった。

「教育」「研究環境」「研究の質」「産業界」「国際性」の5分野17指標に基づいてランク付けしている。今回は3168校がエントリーし、本学は初エントリーだった。

てんこう2は、HTV-X1から数カ月後に放出され、宇宙放射線の計測などさまざまなミッションが行われる。

てんこう2は、HTV-X1から数カ月後に放出され、宇宙放射線の計測などさまざまなミッションが行われる。

## 保護者の皆さまへ 令和7年度卒業式について

令和7年度日本大学卒業式を3月25日に東京・北の丸公園の日本武道館で挙行政式。式典の様子はインターネットでライブ配信します。

会場の収容人数の都合上、保護者の皆さまは式典会場へご入場いただけません。

ライブ配信より門出を見守りいただきますようお願い申し上げます。

ライブ配信の詳細は本学ホームページでご案内します。



# オープンユニバーシティ盛況

## 1965人が来場 94.5%が「満足」



88ブースが設置されたメイン会場  
門性を広くアピールする貴重なイベントとして、来年度以降も継続する方針だ。  
88のブースを学科ごとに設置したメイン会場は午前10時の開場に合わせて多数

<p>本学の全学部全学科（16学部86学科）、通信教育部、短期大学部が一堂に会する「日本大学オープンユニバーシティ」が、昨年11月23日に東京・新宿のベルサール新宿クラ</p>	<p>ンドで初開催され、受験生や保護者ら計1965人が来場した。終了後の来場者アンケート（回答604）で94.5%が「大変満足」「満足」と回答した。本学の総合性と専</p>
--	--

の受験生、保護者らが来場。時間が経つにつれて来場者が増え、人気のブースは立見があふれて通路が狭くなることも。

各ブースに教員、学生が常駐し、20分間の説明を午前、午後各5回ずつ計10回行い、学科の魅力やキャンパスライフなどを紹介した。経済学部や芸術学部、薬学部等のブースでは学部長自らが説明し、受験生らが熱心に耳を傾けていた。

これまで受験生らに対しては各学部がオープンキャンパスを開いてア

ピールしてきたが、全  
 の学びを集結するイベン  
 トは初めて。  
 都立高校2年の女子生  
 徒は「まだこの学部を受  
 けるか決めていません  
 が、一度にたくさん話

---

**司法試験**  
 前年比2人

法務省は昨年11月12  
 日、令和7年の司法試験  
 合格者を発表し、本学の  
 法科大学院から104人  
 が受験して前年を2人上  
 回る21人が合格した。  
 合格率は20・19%で、

司法試験に21人合格

前年比2人増、在学生は7人

に21人合格  
増、在学生は7人  
合格者数順位では43ある  
法科大学院の中で15位  
(前年は47法科大学院中  
15位)と前年と同じだっ  
た。  
これまで受験には法科  
大学院の課程修了または

予備試験合格が必須だったが、令和5年から法科大学院在学中で一定の要件を満たせば受験できるよう制度が変更された。在学中受験は法学法科大学院から25人が受験して7人が合格し、合格率は28・0%だった。

今年の受験者総数は前年より58人多い3837人で、合格者は11人少ない1581人だった。合格率は41・2%。

合格者のうち法科大学院修了者は441人、在学中受験者が712人、予備試験合格者が428人だった。

内部統制研修で理解促す  
本部役職者がグループワーク

本部の役職者を対象にグループワークを中心とした「内部統制に関する研修―業務プロセスにおける運用を中心として

**理解促す**

**ブルーワーク**

「が昨年11月14日、日本大学会館で開かれた。内部統制システムの課題や気付きを洗い出し、対応策を検討することで、実効性のある整備・運用につなげるのが狙い。」

研修には林真理子理事長、大貫進一郎学長をはじめ約80人の役職者が参加。内部統制最高管理責

任者である林理事長が「役職者全員がリスクに  
関する感度を高め、実り  
のある研修になることを  
期待します」とあいさつ  
した。

内部統制事務局内部統  
制課の大嶽龍一課長から  
本学の整備・運用状況の  
説明があった後、9グ  
ループに分かれてグルー  
プワークをスタート。

部局が異なる7人の役  
職者が一つのテーブルを  
囲んで1時間にわたって

討議。大きな模造紙にコメントを書き込み、情報共有した＝写真。最後にグループの代表者が課題や対応策をそれぞれ発表。「コミュニケーション」「信頼関係」といった意識、理解に関するキーワードが頻出した。

内部統制担当の篠塚力業務執行理事は閉会のあいさつで「教職員一人一人の業務意識と行動を改革することが重要」と述べた。



医学部創設100周年記念式典・記念祝賀会が昨年10月26日、東京都港区のオークラ東京で開催された。写真、大正14（1925）年「日本大学専門部医学科」として東京・駿河台の地に創設された医学部の歴史と伝統を祝おうと約400人の関係者が集まり、会場は祝賀ムードに包まれた。記念式典は午前11時から「平安の間」で行われ、学外の来賓・招待者、医師会、校友会、医学部同窓

創設100周年を祝う

新病院を未来切り開く原動力に

つの後、式辞に立った林眞理子理事長は「医学部の教育理念である『**醫明博**（いめいひろ）』を、会長長の祝辞に続いて、小池百合子東京都知事、松本吉郎日本医師会会長ら

の祝電が披露された。

さらに木下学部長が「百年の軌跡 医の未来 図」と題して映像による今後の取り組みを紹介。新病院構想について「未来を切り開く原動力になる」との認識を示した。

医学部同窓会との共催

で行われた記念祝賀会では、坂本健板橋区長、安藤高夫衆議院議員らの祝辞のほか、鏡開き、サックス演奏も行われ、盛会のうちに閉幕。

総合同会を元日本テレビアナウンサーの魚住りえさんが務めた。

## 研究シーズマッチング交流会

みずほ銀行らと共同開催

本学はみずほ銀行、郡  
山地域テクノポリス推進  
機構、福島イノベーション  
が社会や地域の課題解決  
ン・コースト構想推進機  
構と共同で、若手研究者



に向けて、研究シーズを紹介する「地域×研究×ビジネスの共創 研究シーズマッチング交流会」を昨年10月22日、工学部で開催した。同学部の准教授、専任講師、助教ら6人が「押し」の技術をそれぞれ

交流会は2部構成で行われ、1部では工学部が提唱している「ロハス工学」の施設見学会を開催。ロハス工学の研究成果と試験設備を盛り込んだロハスの森「ホール」や、水道や電気が不要なロハスのトイレを見学した。

さつし、同交流会が、参加した企業や自治体の役に立つことを願うとともに、今後の連携強化への期待を表明。みずほの担当者「企業単独では解決できない課題が増える中、日大の専門知識や研究成果は大変魅力がある」と話した。

を開催。会場内には同学部の各学科がブースを出展、学生も参加して取り組んでいる研究領域や成果を参加者に熱心に説明した。

研究推進部知財課は「研究とビジネスの橋渡し」にも、優秀な学生がいることを広く知ってもらい狙いもある」と話している。

令和7年度の第1回学位授与式が昨年11月10日、日本大学会館で行われ、論文提出による博士学位13人に授与された写真。専攻分野は工学4

博士13人に学位

## 7年度第1回授与式

人、医学7人、薬学2人。これにより学位授与者は74778人、課程修了による授与者を含めると1万3796人となった。

式辞で大貫進一郎学長は「日本大学を代表して心よりお祝い申し上げます

題を解決できるように期待します」とあいさつ。

続いて轟朝幸理工学研究所長が「社会課題はますます複雑化してきます。異分野との融合も欠かせません。皆さんの知見や英知を結集、融合させて、社会に貢献してほしい」と祝辞を述べた。

受領者を代表し、峰寄悠さん（工学）は謝辞で

◆雑誌「Pen+」刊行  
雑誌「Pen+」(C  
Eメディアハウス発行)  
の本学特集号が昨年11月  
18日から全国の主要な書  
店で発売されている。  
キャンペーンの建築物を  
魅せる企画ページから付  
属校一覧まで、学校法人

としての魅力が詰まった一冊。学部等が横に連携する教育の取り組み、学生の活動、研究等も紹介している。定価1320円（税込）。電子書籍の展開もある。

◆戦時下の日本を展示

昭和100年、戦後80年にあたる令和7年を迎え、図書館学部分館は「戦後から80年―戦時体制下の日本大学―」展を昨年11月12日から12月24

日まで開催した。展示には当時の学生の遺族からの寄贈をはじめ、広報部と本学図書館が所蔵する資料を出品。

12月8日には広報部高橋秀典氏によるギャラリートークも実施した。

◆日大の「今」をSNSでお届け

X／Instagram：日本大学広報部【公式】  
LinkedIn：日本大学 - Nihon University



# 医学部・芸術学部がコラボ

## 理事長・学長セレクトシンポ



令和7年度理事長・学長セレクトシンポジウムとして「医学と芸術の融合から見える世界―日本大学医学部・芸術学部ビジョナリー・シンポジウム―」が昨年11月9日、桜間会館で開催された。写真。

同シンポジウムは、異なる領域である医学部と芸術学部の教員が登壇し、「融合」をテーマに専門的知見を交錯させて新たな知を創出するのが目的。オンライン視聴を含め学生、教職員、校友ら約140人が参加し、先駆的な取り組みを熱心に聞き入っていた。

シンポジウムは基調講演を含めて四つのセッションで構成され、まず権寧博医学部教授の司会の下、ソコワ山下聖美副学長が「宮沢賢治の世界と〈病〉」のテーマで基調講演。賢治の作品が文学だけでなく、身体と精神の病理とそれを乗り越えようとする「感性の飛躍」から生まれていることを示唆し、医学と芸術の融合の可能性を提示した。



50周年記念事業として令和4年から進めていた松戸歯学部の新校舎新築工事が終了し、昨年12月17日に竣工式が執り行われた。写真。

## 50周年記念事業 一連の新築工事が完工

竣工式は浅井万富業務執行理事、福本雅彦松戸歯学部長、地内整備がこのほど完了した。次世代の歯科医師を育成し、最先端の医療を提供するための「新たな知の拠点」としてフル活用していく。

マにアプローチし、学術的な枠組みを越えた知見の融合に向け、率直な意見交換が行われた。

谷龍樹松戸歯学部事務局長らが出席のもと行われた。中核の「50周年記念棟」は地上4階、塔屋1階建てで、延べ床面積は1万7944平方メートル。最新機器を完備した実習室や研究室、教室のほか、学生会や試験等に活用できる約300人収容の講堂も備える。隣接する付属病院棟とは渡り廊下で結ばれている。

### 秋の叙勲

政府は昨年11月3日付で令和7年秋の叙勲受章者を発表した。本学関係者は旭日重光章の石田勝之氏（元内閣府副大臣、元衆議院財務金融委員長、元衆議院海賊行為への対処並びに国際テロリズムの防止及び我が国の協力支援活動等に関する各特別委員長、元衆議院議員、元評議員、元国際関係学部教授、法卒）、山口泰明氏（元内閣府副大臣、元衆議院外務委員長、元外務大臣政務官、元衆議院議員、元理事、元評議員、法卒）ら7人。

このほかの受章者は次の通り（中綴賞以上・11月7日判明分）。

瑞重光章 河野清孝氏（元東京高等裁判所判事・部総括、大学院法学研究科修士課程修了）

旭日中綴章 根岸孝成氏（元ヤクルト本社社長、元社長執行役員、法卒）

瑞重中綴章 高島久尚氏（元最高検察庁検事、法卒）

布村幸彦氏（評議員、元文部科学省高等教育局長、東京大学法学部、渡邊敬一氏（名誉教授、元文理学部教授、東京大理学院）

## 消防総監から感謝状

医学部  
1年の季羽さん心肺蘇生の救護で

医学部1年生の季羽由紀さんは、昨年8月に東京都新宿区の路上で心肺停止に陥り生命の危機に瀕していた男性に迅速、的確な救護活動を行った。写真。

開催された。林真理子理事長はビデオメッセージで「スピーチコンテスト、お疲れさまでした。お配りするドーナツで楽しんでください」と参加者をねぎらった。



偶然通りかかった。「医学部です。交代しましょう」と反射的に声を掛け、速やかに胸部圧迫を引き継いだ。周囲の電気ショックで意識が回復し、到着した救急車で速やかに搬送された。

「大学で心肺蘇生法の講習や授業を受けたばかりだったので、手順が分かっていたので、効果的な行動をとることができました」と季羽さん。父親が医者で、人助けをする尊敬できる職業として自分も医者を目指しているという。

本下浩作学部長は「季羽さんの勇気ある行動を大変誇りに思います」と話している。

土地を高さ60センチ、上部1以下部4分の盛土で囲む堤防工事が昨年8月に完了した。

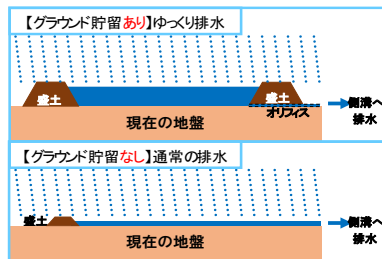
工事は会長を含む複数の役員が本学出身である山崎建設（本社東京）が新入社員研修として無償で請け負い、測量・設計も本学卒業生らが無償で参加。実験はオール日大で進行している。

手塚准教授は「グラウンド利用と治水機能を両立させる実用的手法を確立したい」と話している。

## 豪雨をグラウンドで貯留

工学部  
オール日大で実証実験

各地で大規模な風水害が多発する中、工学部の教授は、キャンパス内のグラウンドを一時的な遊水地として豪雨の氾濫を抑える実証実験に乗り出した。効果が確認されれば全国のグラウンドにも広がる可能性がある。写真。



貯留実験のイメージ。効果が確認されれば全国のグラウンドにも広がる可能性がある。写真。

令和元年の東日本台風で工学部は校舎や学生寮が浸水。これを機に隣接の古川池の掘削により、追加で3万6千立方メートルの雨水の貯留が可能となった。学内のグラウンドを遊水地として活用できれば、さらに約5万2千立方メートルの雨水を溜められるという。

実験は池の公園化を進める「ロハスの池プロジェクト」（リーダー・手塚准教授）の一環として実施。約800平方メートルの土地を高さ60センチ、上部1以下部4分の盛土で囲む堤防工事が昨年8月に完了した。

工事は会長を含む複数の役員が本学出身である山崎建設（本社東京）が新入社員研修として無償で請け負い、測量・設計も本学卒業生らが無償で参加。実験はオール日大で進行している。

手塚准教授は「グラウンド利用と治水機能を両立させる実用的手法を確立したい」と話している。

### 医学部

## 思い思いに書き込んで 体育館にさようなら

昨年11月2日と3日に行われた翠心祭・若樹祭で、間もなく建て替え工事が始まる体育館の外壁にメッセージを書いた学生（写真）や子ども連れの卒業生などが次々に集まり、用意されたカラーペンやスプレーで感謝の言葉やイラストなど思い思いに書き込んだ。



イベントを企画した翠心祭実行委員長 川名菜さん（3年）は「皆さん楽しそうに書いて

くれて、残しておきたくなりました」と話す。同企画長の荻野寛子さん（3年）も「いい思い出になりました。新キャンパスが今から待ち遠しい」と期待する。新体育館は令和10年度末に完成予定だ。

## 英語スピーチコンテスト

学長杯にカイルガリさん

本学付属高校と中等教育学校の生徒を対象とした「第44回英語スピーチコンテスト」が昨年10月23日、日本大学会館で開催された。冒頭、大貫進一郎学長がビデオメッセージで「英語は世界につながるパスポート。今日の

経験が国際人としての第一歩にしてほしい」とあいさつ。コンテストでは代表者26人が4分間の弁舌を振るい、審査の結果8人の受賞者が選ばれた。

1位の学長杯は土浦日大中等教育学校5年のカイルガリ・サユリさん。



大切なテーマ。自身の成長と向き合った発表も印象的だったと総評した。

審査員長のマニング・ジュリアン芸術学部教授が「インターネットやジェンダーは高校生にも

「強さは私の性別」と題し、柔道をやった女子でも強さを追求する信念を熱弁。受賞には「現状に満足せずもっと上のレベルを目指します」と喜んだ。

2位は東北高1年の西牧晏那さん「繋がることで繋がりを見つめ、3位は宮崎日大高2年の大園明さん「告発が真実か・あなたはどんな人になりたいか」。受賞者にはソコワ山下聖美副学長からトロフィーと賞状が贈られた。

英語スピーチコンテストの表彰式終了後、「スマイルキャンパスプロジェクト×付属校生」がジェクト×付属校生」が

【グラウンド貯留あり】ゆづり排水  
【グラウンド貯留なし】通常の排水

貯留実験のイメージ。効果が確認されれば全国のグラウンドにも広がる可能性がある。写真。

実験は池の公園化を進める「ロハスの池プロジェクト」（リーダー・手塚准教授）の一環として実施。約800平方メートルの土地を高さ60センチ、上部1以下部4分の盛土で囲む堤防工事が昨年8月に完了した。

工事は会長を含む複数の役員が本学出身である山崎建設（本社東京）が新入社員研修として無償で請け負い、測量・設計も本学卒業生らが無償で参加。実験はオール日大で進行している。

手塚准教授は「グラウンド利用と治水機能を両立させる実用的手法を確立したい」と話している。



# 全国校友大会を開催

## 650人が集い交流深める

令和7年度の日本大学全国校友大会（校友会主催、大学後援）が昨年11月7日、東京都文京区の東京ドームホテルで約650人を集めて開かれた。



今年のテーマは「つなげよう縁」。芸術学部放送学科の学生2人が司会を務め、校友会の大谷喜一会長は冒頭「今年のテーマには全国の校友が思いを一つにし、大学、学生との絆を深めたいという願いが込められている」とあいさつした。

来賓祝辞で林真理子理事長は「校友の皆さまからの

園ミホ氏と林理事長によるトークセッションが行われたほか、本学管弦楽団と本学合唱団によるコラボレーション、芸術学部殺陣同志会による演舞

が披露され、会場を盛り上げた。

校友が携わる酒造会社4社の試飲コーナーも設けられ、日本酒、ワイン、ラム酒が振る舞われた。

## Jリーグ加入合同会見

### 過去最高の6人が内定



本学サッカー部は昨年11月28日、Jリーグへの加入が内定した6選手の合同記者会見を経済学部

7号館で開催し、J1浦和レッドダイヤモンズに加入する植木颯選手（経済4年）や、J3福島ユナイテッドFCに入る田中慶汰選手（同）らが決意を表明した。写真。本学から6人のJリーグ入りは過去最多となる。

2026年シーズンから加入するのは植木、田中両選手のほか、J3高知ユナイテッドSCに内定した松本大地選手（危

機管理4年）と浅野良啓選手（文理4年）の計4選手。一方、J1東京ヴェルディ内定の平尾勇人選手（文理3年）とJ2水戸ホリールホック（26年シーズンからJ1）内定の五木田季晋（スポーツ科学3年）の2選手は27年シーズンからの加入となる。

浅野選手を除く5選手は、大学のサッカー部に登録したまま受け入れ先のJクラブの選手として公式試合に出場できるJFA・Jリーグ特別指定選手に認定されている。

6選手がそれぞれあいさつし、植木選手は「子どもたちに夢や希望を与えられる選手になるために日々努力をしていきたい」と抱負を述べ、田中選手は「今まで以上に強

## 違法薬物追放に向け啓発 職員向け講演会開催

違法薬物追放に取り組む学生部は、職員を対象にした違法薬物乱用防止啓発講演会を昨年11月11日、軽井沢研修所で開催した。

令和5年に策定した「日本大学違法薬物追放宣言」に関する今年度アクションプランの一環。



プロ野球・阪神タイガースの吉野誠スカウトら関係者が、ドラフト会議で2位指名した本学野球部の谷端将伍選手（経済学部4年）の獲得に向け、昨年10月25日に経済

## 阪神が指名あいさつ

### ドラフト2位の谷端選手

プロ野球・阪神タイガースの吉野誠スカウトら関係者が、ドラフト会議で2位指名した本学野球部の谷端将伍選手（経済学部4年）の獲得に向け、昨年10月25日に経済

## 経済学部も 防犯講話開く

経済学部は昨年12月16日、今年度2回目の防犯講話「大切な未来のために違法薬物シャットアウト」を実施した。講師

は、厚生労働省関東信越厚生局麻薬取締部の指導官。危険ドラッグの被害から身を守り、学生自身が

## 大学用語 辞典

## アセスメントテスト

### 学生の成長軌跡を可視化 個別最適化教育目指す

教育界でアセスメントテストを導入する動きがここ数年、急加速している。同テストは学生一人一人の思考力や学びへの向き合い方、経験を数値化して把握するもので、得られたデータを学生にフィードバックして学びを促すとともに、教育活動の質向上に役立てる狙いがある。デジタル環境を活用した教育改革が進む中、その重要ツールとして脚光を浴びている

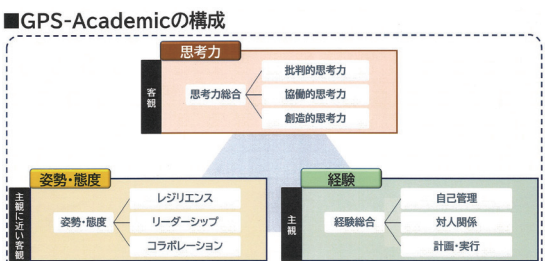
格好だ。本学はアセスメントテストのデータだけでなく、独自の膨大な教養データと連携させ、精緻な個別最適化教育の実現を目指している。

### 大学の導入相次ぐ

これまで大学での学びはGPA（成績指標値）や修得単位数で評価されてきたが、社会に出てから役立つ汎用的な能力（ジェネリックスキル）がどれだけ身に付いたか

が分からなかった。この把握のサポートとして期待されているのがアセスメントテストだ。本学が採用した「GPS Academic」と呼ばれるアセスメントテストは思考力、姿勢・態度、経験の三つの柱と、それにひも付く九つの要素（Ⅱ図）から学生の「学びやスキルの現在地」を測定する仕組み。

教学DX戦略委員会の中村文紀委員長（理工学



スが把握できるようにするという。

例えば、2年次に急激に意欲に関するスコアが下がった学生がいれば、大学側が早期にフォローアップにつながるという活用も想定される。本学の教育活動が教育理念である「自主創造」の力をいかに育んでいるのかを客観的に把握することも可能になる。

### 独自のデータも活用

入学から卒業まで継続的に行うことで学生の成長の軌跡が可視化でき、「この時期に、どの学部で、どのような能力が伸びるのか」というプロセス



CAS）に集積された独自の学修データ等を掛け合わせた複合的な分析を進めていることだ。これにより入試区分別、学科区分別といったより詳細で幅広い分析データの取得が可能になる。

中村委員長は、こうしたビッグデータの利活用

によって「最終的に学生一人一人に最適化された、精緻なオーダーメイド型学修支援の実現を目指しています」と強調する。

また、得られた分析データは異なる学部間の壁を越える「共通言語」となり、全学が一丸となって教育の質向上に取り組むための貴重な資料になる。

さらに見逃せないのは「本学が生み出す分析データは日本の大学教育全体をけん引するデータになり得る」（ソコロワ山下聖美副学長）写真と話している。

は、厚生労働省関東信越厚生局麻薬取締部の指導官。危険ドラッグの被害から身を守り、学生自身が

正しい知識を持つことが目的で、サークルのリーダー的學生や自由参加を含め約70人の學生が聴講した。



1月14日に開かれた第174回芥川賞・直木賞の選考会で、本学法学部法律学科卒の嶋津輝さんが、文系、理系、医歯薬系に加え、芸術、スポーツまでありとあらゆる分野の學生を網羅し、膨大なデータを保有する日本最大規模の総合大学に位置づけられる。

ソコロワ山下副学長は「いわば日本の縮図、日本のご真ん中にある本学の分析データは、日本の高等教育の指針を示すことにもつながります。一大学の教育改善にとどまるのではなく、社会に広く還元して日本の教育界全体のお役に立ちたい」と話している。

【嶋津さんから本学へメッセージ】

学業面ではのんびり屋の學生でしたが、楽しい学生生活でした。法学部3号館の学食の麵類がすべて美味しくて、懐かしいです。



# 学生たちの活躍の場

日本大学には学生それぞれの興味に応じて選択できるゼミナールや研究室が多数あります。  
本コーナーでは、学生たちの活動をクローズアップします。

INTRODUCTION

02

生産工学部

## 平山・染宮研究室



### シミュレーションと実作を両立し ものづくりを重視した複合材料研究

生産工学部機械工学科の平山・染宮研究室は、航空機や自動車の軽量化に不可欠な繊維強化プラスチックに代表される「複合材料」を研究している。現在は4年生14人、大学院生8人、博士研究員1人が在籍し、平山紀夫教授と染宮聖人助手が指導に当たる。研究は①医療用複合材料の開発②複合材料の成形法の開発③燃料電池車に搭載する圧力容器の衝撃解析④AI・最適化手法の研究開発—四つの柱で展開。学部生3人ほどに院生1人が付いて、装置の習熟から研究論文の完成までを目指す。また、医療用の複合材料では、松戸歯学部と連携した「目立ちにくい歯科矯正ワイヤー」など、実用化を見据えた研究も進行中だ。

#### ◇材料の特性に触れ経験を積む

同研究室の特色は、ものづくりを重視していることだ。「多くの大学の複合材料研究では解析や分析がメインとなりがちです。実際に材料に触れて特性



学生ブリッジコンテストの世界大会に向けて課題に取り組む

学生も、実際に成形を行い、材料の特性を直接確かめる経験を積むことができる。

こうしたものづくり教育の成果として、学生有志が課外活動で参加している「学生ブリッジコンテスト」(主催・IHI、先端材料技術協会)が挙げられる。強くて軽い複合材料の橋を競う全国大会で、昨年末の2025年大会では2部門で優勝。2026年春に行われる世界大会出場を決めた。

染宮助手は「企業の評価を受け、自分たちの立ち位置を知る貴重な機会。この大会に臨む上で、時間の使い方が上達した学生が増えました」と参加の意義を語る。小倉慎ノ介さん(修士1年)は「解析だけでなく、日常的に材料に触れる環境にあったからだと思う」と勝利の秘訣を語った。同研究室の学びのすべてが詰まったコンテストとも言える。世界大会を目前に控えた松浦玲斗さん(同)は「世界大会に向けシミュレーションはできました。あくまでもそれは『空想』の段階。実際に形にしてみても初めて見えてくる課題をつぶして世界大会に挑みます」と力強く語った。

#### ◇企業と連携し実践力を育む

この研究室で学んだ卒業生は自動車や航空機、材料メーカーなどの大手企業へ多く羽ばたいている。今後は国際学会への派遣や企業との共同研究を、さらに強化していくという。スポーツメーカーとの共同研究を経験した嶋村和さん(同)は「タイムマネジメントや報告書の書き方など、実社会で必要なスキルが身に付いた」と語る。平山教授は「社会に貢献できるような研究者となっていきたい」と期待を寄せる。

INTRODUCTION

01

芸術学部

## 上村ゼミナール



### 学生の視点で課題を捉え 音楽を通じて社会に貢献する

芸術学部音楽学科情報音楽コースは、最先端の技術を用いた楽曲制作や音楽ビジネスの創出など、新領域を開くクリエイターを育成している。その中で上村ゼミは「音楽の力で社会に貢献する」をテーマに、社会課題と音楽を結び付ける活動の設計と実践に挑んでいる。指導教員の上村さや香助教は、本学在学中にシンガーソングライターとしてデビューし、その後2023ミス日本みどりの大使として国産木材ギターを用いた林業広報に携わった経験を持つ。こうした背景を生かし、ゼミではサステナブルな社会をキーワードに音楽を幅広い領域で生かすサービスデザインを探究している。

#### ◇社会課題からテーマを見つける

上村ゼミでは3年、4年の2年間で社会課題の中から興味あるテーマを設定し、音楽的手法でアプローチする方法を立案。自ら実行し、事後評価を経て卒業論文へまとめることが主な活動だ。上村助教は「林業従事者の声から課題を捉え、林業応援ソングを自作し国産木材ギターで演奏するなど、現場の声をもとに実践してきました。学生もそれぞれの関心から課題を見つけ、研究に取り組んでいます」と話す。

ゼミ生の研究内容は多彩だ。大室莉渚さん(4年)は、音楽学科1年生を対象にカスタネットの自作キットを使った合奏体験型ワークショップを実施。「人々の幸福度や社会的健康を向上させるために、音楽をどう役立てるかを研究しました。論文にすることで自分の思考を言語化する力が身に付いたと実感しています」と振り返る。進木愛衣さん(同)は「人間関係が複雑化する現代社会で、“居場所”とは何か」をテーマに、演劇学科やデザイン学科の学生の協力を得て、昨年の日芸祭で生演奏ミュージカルを公演。「プロデューサーとして作品をつくり上げる経験はやりがいがありました」と話す。日芸ならではの実践的試みとして好評だったという。古田楽人(仮名・同)さんは「音楽は宇宙規模の共通言語となりうるか」という問いから、音に触れた際に生じる共感的な知覚に注目。ワークショップ形式の授業を通して、非言語的なコミュニケーションの可能性を検証している。



自作カスタネットによるワークショップの様子

#### ◇ゼミで得た実践力を将来に生かす

「柔軟な発想を起点に議論を繰り返し、社会との接点を見つけて掘り下げます。大切にしているのは社会に働きかけるアクションを実践すること」と話す上村助教。その目標は本学の自主創造の理念に通じる。ゼミで得た実践力を生かして、大室さんはコンサート企画会社に内定。進木さんはバンド活動を続けながらフリーランスを支える税理士を目指すといい、古田さんは既にプロミュージシャンとして活動中と、それぞれ将来の道は見えている。同助教は「音楽を通して得た視点や姿勢は、進んだ先の分野でも生きる時が来るはず。学生の活躍が広がっていくのを楽しみにしています」と述べた。



## INTERVIEW

## 保護者に役立つミニ講義

## 日銀利上げの家計への影響は？

利息は増えるがインフレを考慮した  
実質ベースでみるのが大事

日本銀行は令和6年3月にマイナス金利政策を解除して以降、利上げを続けている。利上げが家計に与える影響について、国内メガバンクグループでの勤務経験もある、経済学部経済学科の杉山敏啓教授に聞いた。

## 目に見える影響として利息が増加

日銀が利上げに転換した理由は、経済の活況等に伴う物価上昇を緩やかにすることと、異常なマイナス金利政策から脱することでした。

政策金利の引き上げにより世の中のさまざまな金利が上昇すると、残高×金利で決まる利息が目に見えて増加します。銀行や信用金庫などの預金者が受け取る利息は、以前と比べてだいぶ増えていきます。国債などの債券についても利率が上がったものを買えば、支払われる利子が増えます。こうした金融資産を持っている人にとって、受け取る利息が増えることは好影響といえます。

金利上昇局面で、銀行融資の基準金利が上がると、お金の借り手である債務者に適用される融資金利も上がります。変動金利型の住宅ローンを利用する家庭にとっては、支払利息が増えると総返済額が大きくなるので悪影響といえます。他方、全期間固定金利型の住宅ローンを以前から利用している家庭では、総返済額は確定しているので、金利

変動は影響しません。

## 金融資産負債の実質的な価値は目減り

預金者にとって、預金利息が増えるのはうれしいですが、手放しでは喜べません。なぜなら、預金金利よりも物価上昇率の方が高い現状では、インフレが進むほどに預金の実質的な価値が目減りするからです。現在、1万円で牛肉1kgを買えるとして、インフレが進んだ将来には、1万円プラス預金利息で買える牛肉の量は、今よりも減ってしまいます。購買力の目減りをカバーするには、預金だけでなく金融資産運用の幅を広げることが選択肢です。

一方、住宅ローンなどを利用する債務者にとって、インフレの進行により負債の実質的な価値は目減りします。借入金の元本を毎月均等に10万円ずつ返済する場合、今月返済する10万円よりも、将来に返済する10万円の方が、実質的な負担感は下がっています。ローン金利から物価上昇率を引いた実質金利がマイナスであるうちは、負債の実質的な価値の目減りという好影響の方が強く作用しているといえます。このように実質ベースで考えると、気持ちが少し楽になるでしょう。

今後、日銀による利上げはあと2回ほどであると予測されています。金利と物価上昇率の差がどこまで小さくなるのか、注意が必要です。



経済学部経済学科

杉山 敏啓 教授

## すぎやま・としひろ

平成4年青山学院大経済学部卒。同年より30年まで三和総合研究所研究員、三和銀行事業調査部出向、UFJ総合研究所主任研究員、三菱UFJリサーチ&コンサルティング金融戦略室長等を歴任。令和2年埼玉大大学院人文社会科学研究科経済経営専攻博士後期課程修了。博士(経済学)。令和7年より現職。

## ネット広告の危険性

マスメディアの広告とは異質  
認識を改め上手な付き合いを

インターネット上の情報は日々の暮らしに欠かせない一方、詐欺広告や紛らわしい広告も多数掲載されている。悪質な広告、不審な広告による被害を避けるにはどうしたらいいのか、商学部商業学科の田部溪哉准教授に聞いた。

## ネット広告は事前審査が不十分

テレビ、ラジオ、新聞、雑誌に代表される旧来のマスメディアの広告は、メディア自体に詳細な広告掲載基準があり、何段階もの審査を経るため、違法性の高い広告が出ることはほぼありません。対してネット広告の場合、広告取引の場を提供しているプラットフォーム事業者は、マスメディアほど厳格な広告審査ができていません。利用者に合わせた広告は絶対的に数が多く、事前審査の網羅性や人の目による確認には限界があり、不審な広告が掲載されるケースも少なくありません。なお現在の日本は、プラットフォーム事業者の責任範囲について、広告主ほど明確な規制がない状況です。

ネット上にはさまざまな広告が混在しており、サイト内に組み込まれたり、SNSなどにコンテンツとして配信されたりしています。インフルエンサーの動画でも、企業から謝金を得ている、いわゆる「案件」が増えてきました。近年はステルスマーケティング規制も強化されており、「PR」「この動画にはプロ

モーションを含みます」などの表記義務があるのですが、一見して分かりづらいものもあり、注意が必要になっています。

## 信頼できる発信元か必ずチェックする

ネット広告と上手に付き合うには、まずネット上の無料や安い金額で利用できるサービスは、運営費用の大部分が広告収入で賄われている、ということを確認しましょう。映画鑑賞、読書、買い物など別次元の行為だったものが、スマートフォン一つで可能になり、垣根を超えた消費者の時間の奪い合いが起きています。そこでプラットフォーム事業者は、利用者を長く自社サービスにとどめ、広告視聴回数（広告収入）を増やそうとします。広告主もあおり文句やコンプレックスを刺激する広告で注意を引き、強引に購入に導く悪質な例が後を絶ちません。こうした実情から身を守るには、自分で学び、経験を積むしかありません。最も基本的な対策は、情報や広告の発信元が信頼できる企業や個人かを常にチェックし、複数の情報源を参照することです。

万一被害にあった場合、明らかな詐欺であれば警察に、契約や購入トラブルは消費生活センターに相談するとよいでしょう。消費者庁のサイトには不正を告発された企業の事例が掲示されているので、疑わしい場合は確認することをお勧めします。



商学部商業学科

田部 溪哉 准教授

## たべ・けいや

平成21年早稲田大商学部卒。28年同大大学院商学研究科商学専攻博士後期課程退学(単位修得)。25年同大商学学術院助手、29年城西大経営学部助教等を経て令和6年より現職。



## INTERVIEW

## 保護者に役立つミニ講義

## 大規模火災にどう備えるか

風の力を甘くみてはいけない  
自治体の情報を活用し事前に把握する

昨年末、大分市佐賀関で起きた大規模火災は、さまざまな要因が重なって起きた災害だった。地震や台風など自然災害が大規模化する現状で市街地で起きる火災にはどう備えたらよいのか、理工学部土木工学科の長谷部寛准教授に聞いた。

## 山火事の延焼は思っているより速い

道路や橋梁、都市計画などを研究する土木工学科で、私は風工学を専門にしています。長く大きな橋への風の影響が主な研究テーマですが、近年では山林火災に与える風の研究も行っています。

ここ数年、世界各地で起きている山林火災の原因には、人的要因だけでなく、乾燥と落雷による自然発火も含まれます。山林火災は帯状に広がってかつ急速に進む性質があり、例えば米国のカリフォルニアでは、フットボールのフィールド程度の面積を1秒間で焼き尽くした分析結果もあります。傾斜地の場合は下から上に向かう方が早く広がります。風の影響も大きく、私たちの実験では、風速が2倍になると延焼速度はおおよそ4倍になる(二乗に比例する)というデータも得られています。つまり、強風の日の延焼速度は考える以上に速い、とっていた方がいいでしょう。

また、雨が降って地面が湿っていれば延焼しにくくなりますが、乾燥して地面に水分がほとんどない

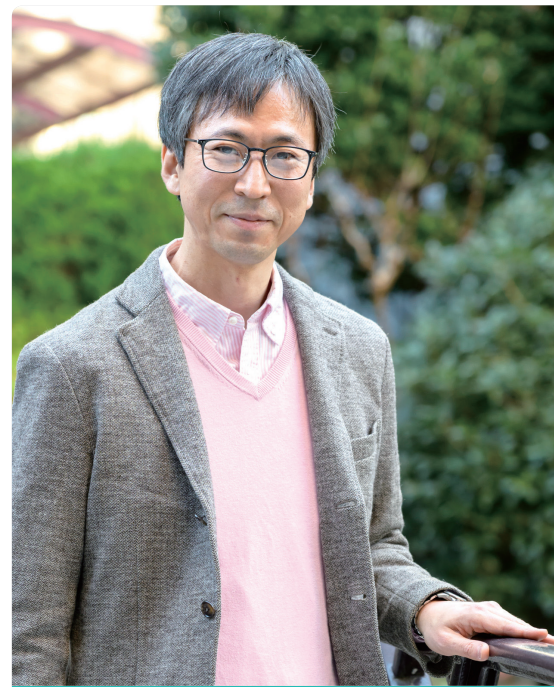
状態では落ち葉も乾燥し、一層燃えやすい状態にあります。日本では冬の乾燥した時期は注意が必要です。

## 自宅周辺の環境と避難経路を知る

大分市佐賀関の火災は、海と山に挟まれ風の吹き込みやすい地形で、当日も強風という状況で発生。さらに冬場にさしかかる乾燥した時期に加え、木造住宅が密集し消防車が入れなかったことも災いしました。こうした強風が吹きやすい地形、消火作業が難しい住宅密集地は全国各地で見られます。

一方、都心部などの市街地での火災は、また違った難しさがあります。建物の形や配置によって吹き抜ける風向きや風速が大きく変化するからです。ビル風が複雑に発生するため、風の予測は非常に困難です。最近ではAIを使ったシミュレーション技術も開発されつつありますが、都心部の火災は山林火災よりも現象が複雑化しやすいと言えます。

火災の被害から身を守るためには、自宅の周りの環境と火災が起きた際の避難経路を事前に知っておくことが重要です。特に大規模火災は大地震の際に起きる可能性が高いため、地震とセットで想定する方が現実的です。各自治体が公開している災害時のハザードマップや避難所情報などを確認し、把握しておくようにしましょう。



理工学部土木工学科 長谷部 寛 准教授

## はせべ・ひろし

平成13年本学理工学部卒。15年本学大学院理工学研究科土木工学専攻修士課程修了。同年本学助手、23年専任講師等を経て29年より現職。

## ワクチンが注目される帯状疱疹とは

生涯で3人に1人がかかる病気  
自治体の助成等も利用し、ワクチンの予防接種を

ここ数年、帯状疱疹ワクチンの予防接種について頻繁に見聞きするようになっていいる。その背景にはどのような実情があり、なぜ今注目されているのか、医学部医学科の藤田英樹教授に聞いた。

## 水ぼうそうと同じウイルスが原因

帯状疱疹は、水ぼうそうの原因である水痘帯状疱疹ウイルスの体内での再活性化によって起こります。最近注目されていますが、急に増えたわけではありません。水ぼうそうにかかると治った後も神経節にウイルスが残り、加齢などの要因で免疫力が落ちると再活性化します。その際、知覚神経に沿って帯状に水疱が出るため帯状疱疹と呼ばれます。主な症状は水疱による皮膚の痛みやかゆみで、水疱が出て72時間以内に治療を開始することが望ましいとされます。目や耳の周りに発症すると視覚障害や内耳障害、顔面神経障害などにつながることもあるため、すぐに治療を受けましょう。

重症化するとウイルスが血液に乗って体内を巡り、全身で水疱が発生することもあります。治療には抗ウイルス薬を服用しますが重症の場合は点滴治療や入院が必要になり、痛みが長く続いたりします。

ウイルスが再活性化すると、まず体の一部で痛みを感じ、数日から10日ほど後で水疱が現れます。

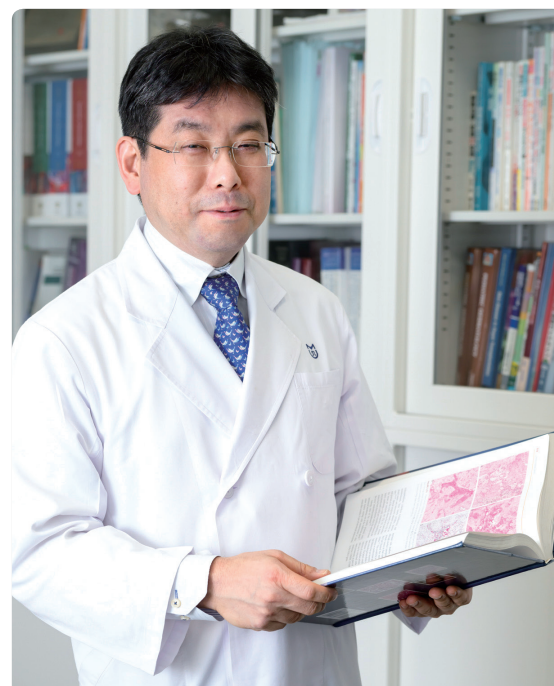
厄介なのは、頭痛など痛みが出て、水疱が出るまで帯状疱疹とは分からず、痛みの原因をすぐには特定できないことが少なくないことです。

## 医療コスト削減のためにも予防接種を

帯状疱疹は高齢者に多く、生涯で3人に1人はかかるといわれます。また平成26年の水ぼうそうワクチン定期接種化以降、子どもの水ぼうそう激減により親世代のこのウイルスに対する免疫力が低下し40歳代でも帯状疱疹が増えています。ウイルスが原因のため他者に水ぼうそうとして感染することもあります。重症化して入院治療になれば社会全体の医療コスト増にもなり、放置できません。

予防手段としてはワクチンの接種が最も効果的です。近年、海外の製薬会社がより効果の高いワクチンを開発し日本でも使用されるようになりました。テレビや新聞等で見える機会が増えたのは、行政もワクチンによる予防を推奨しているためです。

ワクチンは主に50歳以上の方が接種可能で、自治体によって費用の助成が行われています。特に65歳を迎える方は定期接種の対象となるため、定年退職を機に接種する方も多いようです。助成の条件や期間は自治体によって異なるため、調べておくといでしょう。自治体から案内が届いた場合は、基本的に接種することをおすすめします。



医学部医学科 藤田 英樹 教授

## ふじた・ひでき

平成11年東京大医学部卒。17年同大学院医学系研究科外科学専攻博士課程修了。医学博士。19年同大助教、26年本学准教授等を経て令和5年より現職。



# スペシャリスト に聞く!



**Q 危険ドラッグと呼ばれる薬物はどのように流通しているのでしょうか。**

危険ドラッグ(デザイナードラッグ)の多くは、法的に規制された薬物の化学構造を変えた成分が、さまざまな製品に混入されて流通します。これまでに国内で確認された例には学術用研究物質(粉末)、アロマリキッド(液体)、芳香剤(固形)、お香(ハーブ製品)、グミ(個体)などがあります。電子タバコに付けるリキッドやお菓子のグミなど、日常的に接している製品と同じ外見をしているため薬物と分からず、危険だという意識を持たずに使用してしまうところが問題です。危険ドラッグの増加は世界共通で、海外で新しい製品が流行するとそれほど時間差なく日本でも流行する傾向があります。

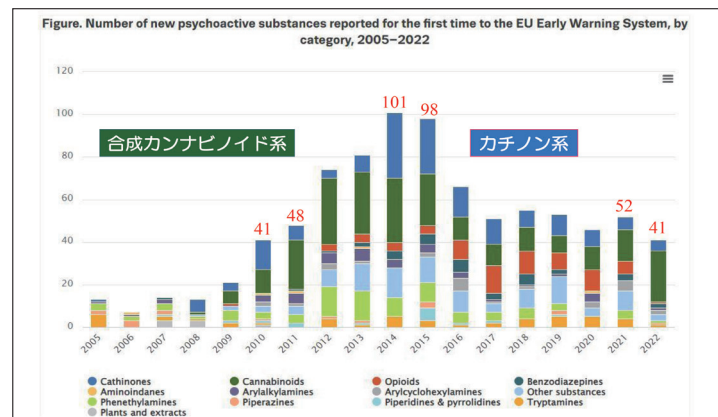
**Q 危険ドラッグの増加にはどのような背景があるのでしょうか?**

世界中で取り締まりが厳しくなり、違法薬物の流通が難しくなったことや、インターネットで海外取引が容易になったことが理由と考えられます。輸入品は税関で検査されますが、法規制された薬物が含まれていなければ差し止めできません。

薬物の化学構造には、精神作用を引き起こす核となる部分があります。例えば近年急速に増えている、大麻と同様の作用を示すとされる合成カンナビノイド系の化合物【表参照】。これらも核となる部分を有することが知られています。大麻に含まれるこの核を持つ化合物ではテトラヒドロカンナビノール(THC)が知られており、麻薬として規制されています。一方、化学構造が類似するカンナビジオールは規制されておらず、いわゆる健康食品や化粧品に配合され市販されることがありますが、THCが一定濃度を超過して検出すれば違法となります。化学の知識があれば類似の核を有し、化学構造の違う新たな化合物をつくることのできるため、悪意を持った者が法目をくぐり、お香やグミに混入させて「安全な製品」と偽装して危険ドラッグを流通させているのです。

こうした事態は放置されているわけではありません。日本では国立医薬品食品衛生研究所や都道府県の衛生研究所が疑わしい製品の分析を行っています。東京都には知事指定薬物という制度があり、新たな危険ドラッグ成分は条例で規制できます。この情報は国にも共有され、1週間程度で全国でも規制されます。ただし法律化には厳密に化学構造を特定する必要があり時間がかかるため、残念ながら悪徳業者と法規制の「いたちごっこ」になっているのが実情です。

EU 早期警戒システムで初めて報告された新規精神活性物質の数 (2005～2022年)



日常生活に巧みに忍び込む危険ドラッグの実態について知っておきましょう。覚せい剤や大麻などは違法薬物として法律で規制されていますが、その一方で、化学構造を変えることで法的規制を逃れる危険ドラッグが急速に増えています。

## 装いを変えた危険な薬物



薬学部薬学科

なかじま じゅんいち

中嶋 順一 教授

平成3年本学理工学部卒。同年東京都薬用植物園、9年東京都立衛生研究所(15年に東京都健康安全研究センターに組織名改変)。25年本学より博士号(薬学)を取得。令和3年同センター薬事環境科学部環境衛生研究科長、5年副参事研究員を経て6年より現職。

### デザイナードラッグ

危険ドラッグの別称。覚せい剤や麻薬などの規制薬物と類似の化学構造や有害性を有することが疑われる物質であり、もっぱら人の乱用に供することを目的として製造・販売されるもの。フェンタニル系合成麻薬に対して使われ始めた用語だが、1980年代以降MDMAの流行時に広まった。構造により、トリプタミン系、フェネチルアミン系、ピペラジン系、合成カンナビノイド系化合物等に分類される。(日本薬学会HP/薬学用語解説より一部抜粋)

### キーワード

指定薬物

合成カンナビノイド

心のケア

**Q 危険ドラッグから身を守るにはどうしたらよいのでしょうか?**

香料やお菓子に姿を変えた危険ドラッグは外見だけでは区別が付きません。こうした製品は極端に高額となるため金額が目安ともなりますが、イベント会場等で無料配布された例もあり注意が必要です。確実なのは生産者や販売者の顔が見える、信頼できる製品以外は絶対手に取らないことです。

最近深刻なのは高校生や大学生など若年層にも広がっていること。友人に誘われて興味本位で使ってしまったたり、やさしい言葉に乗せられて買ってしまったりする例が多いようです。教育を通じて薬物の健康被害の危険性を十分に認知させる必要があるでしょう。また、危険ドラッグに手を出してしまうのは、心に不安を抱える学生が増えているためとも考えられます。社会全体で若い人に寄り添い、不安を解消する環境づくりも必要です。本学でも学生相談窓口などを設け、心のケアに配慮する体制をとっています。薬学部あるいは薬学部の卒業生が危険ドラッグの撲滅に少しでも貢献できることを、心から願っています。